

すずき歯科 スマイル通信 第9号

桜の花も満開になり、すっかり春らしくなってきました。皆さんは今年はどこに花見に行かれましたか?当院のスタッフの間でも花見スポットの話題で盛り上がっています。

春は出会いの季節です。

すずくりも新しいメンバー4名が加入し、ますます活気のある診療室になっています。出会いを大切に、新鮮な気持ちでがんばっていきます!



しんくら歯科医院を見学してきました

すずくりでは毎年春先にはスタッフ全員で他の歯科医院に見学に行っています。その理由は、**医院をより魅力的にするために、他の優れた医院を見学し、刺激を受け、様々なことを参考にし、良いところは取り入れていきたいから**です。

今回見学させていただいた倉敷市しんくら歯科医院は、医院の規模、雰囲気、ホスピタリティー、スタッフのやる気...どれをとっても最高でした。自分が患者になったら通いたいと思えました。

その中でも特に目を引いたのは、しんくら歯科医院には治療を終えて健康を獲得された患者様だけが入れる空間、つまり定期的なクリーニングを受けに来られる方のみが利用できる特別な個室の診療室があることです。その部屋は歯科医院とは思えないリラックス空間で、もちろん歯を削ったりする音は聞こえません。

当院も予防歯科を中心に診療を行っているのでも参考にになりました。

いずれはそのような部屋を患者様に提供できたら、と強く思いました。



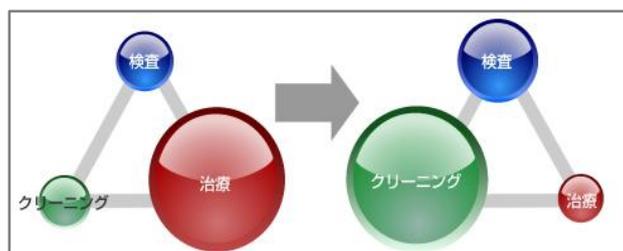
予防歯科の大切さ

歯を失う大きな原因は虫歯と歯周病(歯周炎や歯肉炎)です。虫歯と歯周病の予防には定期的な歯のクリーニングが欠かせません。北欧では成人の90%、アメリカでも70~80%の人が定期的な歯のクリーニングを受けているのに対して、日本ではわずか2%未満です。

日本では、歯科は「痛くなったら治療のため受診する」のが一般的ですが、歯科先進国である欧米では**虫歯や歯周病にならないために受診する=予防管理中心型歯科医療**が一般的です。(図1)

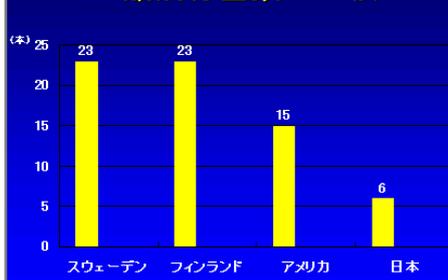
その差は、80歳の時にどれだけ自分の歯が残っているか(残存歯数)に表れています。(図2)

当院は、欧米型=予防中心の診療スタイルをとっている歯科医院です。みなさんに定期的な歯のクリーニングを受けていただき、生涯健康なお口で過ごしていただきたいと考えています。



(図1)日本では多くの方が治療のために歯科を受診。一方、欧米ではクリーニングや検査のために受診するのが一般的。

80歳残存歯数の比較



(図2)日本では、80歳になった時たった6本しか自分の歯を残すことができないのに対し、定期的に歯のクリーニングを受けるのが当たり前の北欧では23本も残すことができます!!